



平成 25 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 兼 松 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 下 嶋 政 幸
(コード番号 8020 東証 1 部)
問 合 せ 先 企 画 部 広 報 室 長 渡 部 佳 津 子
(電話番号 03-5440-8000)

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、2013 年 4 月から 2016 年 3 月までの 3 ヶ年の中期経営計画を策定致しましたので、お知らせ致します。

2015 年 3 月期に創業 125 周年という節目を迎え、さらに成長していくため、本中期経営計画では、
～未来へ繋ぐ、新たなステージへの飛躍～ をビジョンとして掲げております。

恒常的に新規事業を創造し続ける事業創造集団を目指し、継続的な企業価値の向上を図って参ります。

概要につきましては添付資料をご参照ください。

以 上

中期経営計画

～未来へ繋ぐ、新たなステージへの飛躍～

2015年3月期に当社は創業125周年を迎えます

(2013年4月～2016年3月)

2013年5月8日

 兼松株式会社

中期経営計画 “S-Project” (2010年4月～2013年3月)の総括

業績レビュー

- 前中期経営計画 “S-Project” は、リーマンショック後の金融危機・世界不況の中で連結経常利益が82億円に落ち込んだ中でスタート。
- “S-Project”最終年度目標(2013年3月期)連結売上総利益800億円、営業利益190億円、経常利益140億円、当期利益65億円に対し、最終年度実績は連結売上総利益800億円、営業利益183億円、経常利益167億円、当期利益96億円と、営業利益を除き目標を達成。
- 特に経常利益としては、「構造改革計画後」初の100億円割れとなった2010年3月期との対比で204%と、一定の収益力回復を果たす。

(単位:億円)

	2010年3月期	前中期経営計画 “S-Project” 実績			“S-Project” 当初の 2013年3月期計画
		2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	
売上高	8,613	9,369	10,064	10,192	10,500
売上総利益	741	769	809	800	800
営業利益	122	180	214	183	190
経常利益	82	143	178	167	140
当期純利益	35	92	61	96	65

財務レビュー

- “S-Project”最終年度目標(2013年3月期)自己資本比率10%超、ネットDER2.0倍程度に対し、最終年度実績は自己資本比率13.7%、ネットDER1.6倍と目標を達成。
- “S-Project”後半にかけて投資が増加したことにより、ネット有利子負債は最終年度目標を若干上回る864億円にて着地するも、自己資本の積み上げが寄与し、財務バランスが改善。

(単位:億円)

	2010年3月末	前中期経営計画 “S-Project” 実績			“S-Project” 当初の 2013年3月末計画
		2011年3月末	2012年3月末	2013年3月末	
総資産	3,986	3,887	3,998	3,992	4,100
自己資本	289	331	390	545	450
自己資本比率(%)	7.3	8.5	9.8	13.7	10%超
グロス有利子負債	1,931	1,736	1,608	1,469	1,690
グロスDER(倍)	6.7	5.2	4.1	2.7	3.8
ネット有利子負債	1,094	1,046	900	864	840
ネットDER(倍)	3.8	3.2	2.3	1.6	2.0倍程度

* 自己資本=純資産-少数株主持分

復配

- 個別の収益が安定していないため、継続的かつ安定的な配当をするには十分ではないと判断し、復配を見送り。
- 速やかなる復配と継続的・安定的な配当を実現すべく、さらなる収益力強化と財務体質の改善・強化に努める。

中期経営計画(2013年4月～2016年3月)

ビジョン

～未来へ繋ぐ、新たなステージへの飛躍～

基本方針

- 創業125周年を迎え更なる未来へ飛躍すべく、攻めの経営で、揺るぎない成長路線を確立する。
- 事業創造集団としてのプロフェッショナルな組織・人材を一層強化し、お取引先との共生・発展を図る。
- 内外のステークホルダーの期待に応えるべく、継続的な企業価値の向上を目指す。

重点施策

(1) 時代のニーズを先取りするグローバルバリューチェーンの強化

変化する先進国、途上国それぞれの動向を迅速かつ的確に把握し、積極的な投資推進により、カスタマーニーズに基づく強固なバリューチェーンを構築、強化する。

(2) グループ力の結集と相互連携、資源の有効配分による連結収益力の向上

強み分野を一層強化するために、集中的な資源配分を推進。
部門を超えた横展開の連携を強化し、連結ベースの収益向上を追求する。

(3) 経済環境に左右されない盤石な財務基盤の構築

コンプライアンス体制の強化とリスク管理体制の高度化により、健全な資産の積上げを図ると共に、適正な負債資本バランスを維持する。

(4) グローバルなプロフェッショナルの育成

グローバル環境の変化に迅速に対応し、多様なニーズに応えられる知見を兼ね備えた人材の増強を推し進める。

(5) 復配と継続的配当の実現

継続的、安定的な適正配当を早急に実現する。

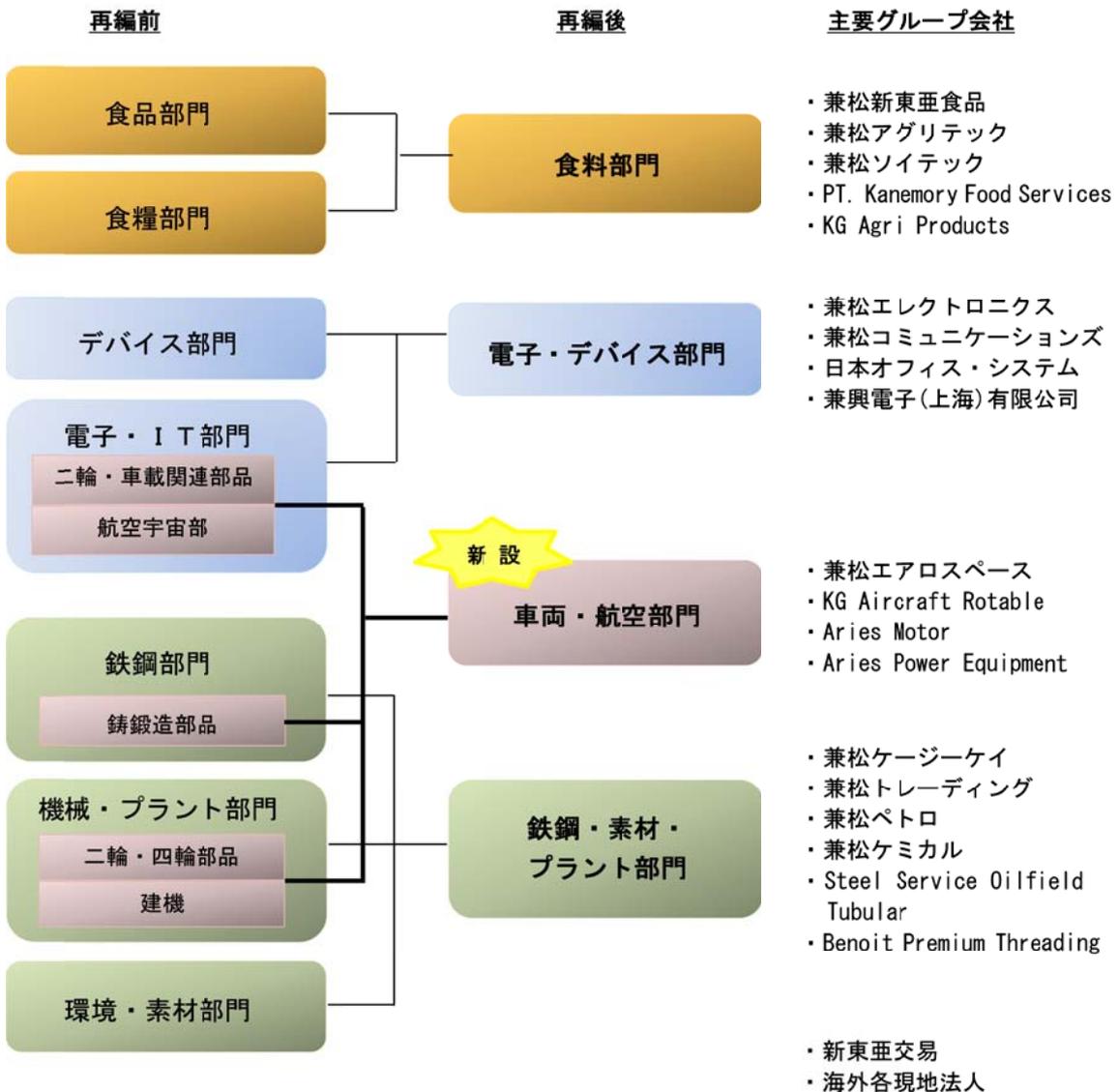
注力分野と組織

■ 主な注力分野

- ① 食料分野のグローバル展開
- ② 電子・デバイス・ICT分野の拡大
- ③ 車載・機構部品分野の強化
- ④ エネルギー・素材・インフラ分野の新規開拓

■ 組織

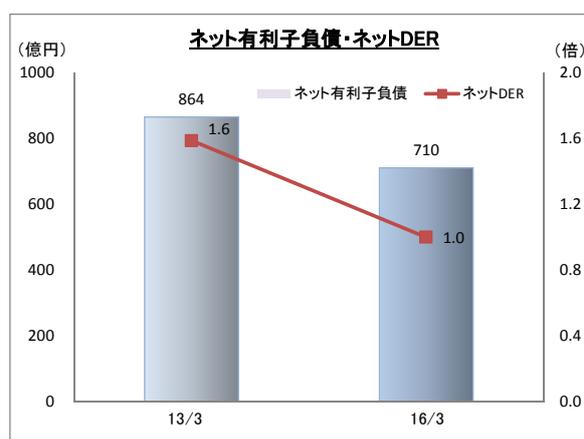
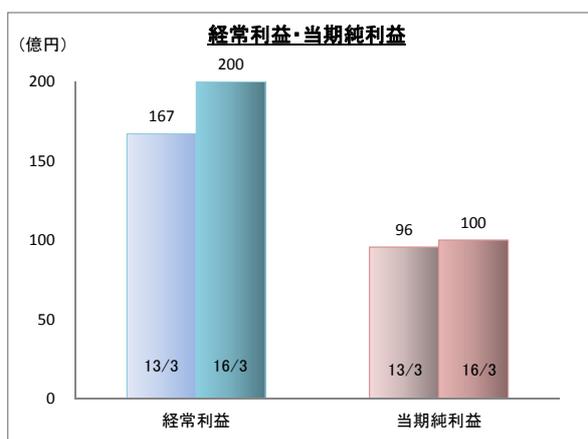
重点施策の実現性を高め、兼松グループの持つ強みをより発揮していくため、2013年4月より営業部門を再編。



定量目標

■ 中期経営計画最終年度（2016年3月期）

- 連結経常利益 200 億円
- 連結当期純利益 100 億円
- ネットDER 1 倍台維持



■ 3カ年推移イメージ

<収益>

(単位:億円)

	2013年3月期	新中期経営計画			2013年3月期比	
		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	増減	増減率
売上高	10,192	10,500	11,000	11,500	1,308	12.8%
売上総利益	800	840	880	920	120	15.0%
営業利益	183	190	205	220	37	20.5%
経常利益	167	170	190	200	33	19.7%
当期純利益	96	60	80	100	4	4.6%

<財務指標>

(単位:億円)

	2013年3月末	新中期経営計画			2013年3月末比	
		2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	増減	増減率
総資産	3,992	4,190	4,270	4,440	448	11.2%
自己資本	545	603	670	749	204	37.4%
自己資本比率(%)	13.7	14.4	15.7	16.9	3.2pt改善	—
グロス有利子負債	1,469	1,469	1,469	1,469	0	0.0%
グロスDER(倍)	2.7	2.4	2.2	2.0	0.7pt改善	—
ネット有利子負債	864	810	760	710	△ 154	-17.9%
ネットDER(倍)	1.6	1.3	1.1	1.0	0.6pt改善	—

■ 部門別収益

＜売上高＞ * 外部顧客に対する売上高 (単位: 億円)

	2013年3月期	新中期経営計画			2013年3月期比	
		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	増減	増減率
食料	2,879	3,200	3,400	3,700	821	28.5%
電子・デバイス	2,296	2,300	2,450	2,520	224	9.8%
車両・航空	601	600	630	660	59	9.8%
鉄鋼・素材・プラント	4,380	4,380	4,500	4,600	220	5.0%
その他	37	20	20	20	△ 17	—
合計	10,192	10,500	11,000	11,500	1,308	12.8%

＜営業利益＞ (単位: 億円)

	2013年3月期	新中期経営計画			2013年3月期比	
		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	増減	増減率
食料	32	40	45	50	18	56.3%
電子・デバイス	81	75	75	80	△ 1	-1.2%
車両・航空	14	10	15	15	1	7.1%
鉄鋼・素材・プラント	53	65	70	75	22	41.5%
その他・消去	2	0	0	0	△ 2	—
合計	183	190	205	220	37	20.5%

